

中3 修学旅行事前学習 ～東京大空襲に学ぶ～

7月2日（火）の記事では、中学3年生の修学旅行事前学習についてご紹介しました。今回は、事前学習の一環として行なった講演会の様子をお伝えします。

中学3年の10月には、長崎に修学旅行に出発します。この旅行を通して学ぶことは多くありますが、その中でも被爆地である長崎への旅行は、戦争や平和について深く考えるきっかけになるはずです。

原爆の被害から学ぶことはもちろん、より広い視点からの「平和」を考えるべく、東京大空襲についても学習することとなりました。

講師として、東京大空襲を8歳で経験し、現在は語り部としての活動をされている二瓶さんに御来校頂き、当日の様子や戦後の暮らしについて講演をして頂きました。

家族と離れ離れになりながらも、命からがら逃げたこと。「火の海」に飲み込まれていく街や人の様子。焼け出され、戦後は親戚の家を転々としたこと…。

静かに語る姿からは想像することの出来ない、大変な思いをされてきたことが伝わりました。

「本質をきちんと見る必要がある。」という二瓶さんの強いメッセージに、生徒たちも心を動かされた様子でした。実際の体験を聞くことのできる貴重な機会になりました。



焼夷弾のモデルなどを使い、解説を頂きました。
生徒からの質問にも答えて頂きました。



廊下には、東京大空襲直後の写真を展示しました。

10万人が亡くなった壮絶な様子に、
衝撃を受けた様子でした。

